

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 5 月 23 日(2023.5.23)

【公開番号】特開 2023-53073(P2023-53073A)

【公開日】令和 5 年 4 月 12 日(2023.4.12)

【年通号数】公開公報(特許)2023-068

【出願番号】特願 2023-17980(P2023-17980)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 5 月 15 日(2023.5.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

遊技者による操作の受け付けが許容される受付状態を発生可能であり、該受付状態において受け付けがなされると、該受付状態の種別に応じた受付後表示を表示させる受付状態実行手段と

を備え、

前記受付状態として、第 1 受付状態及び第 2 受付状態を含む複数種別の受付状態が用意されており、

30

前記第 1 受付状態は、特定 B G M が可聴出力されているなかで発生しうるものであり、当該第 1 受付状態において前記特定 B G M が可聴出力されているなかで受け付けがなされるとこれを契機として前記特定 B G M が非可聴にされ、

前記第 2 受付状態は、可聴出力されていた前記特定 B G M が可聴出力されない状態になってから発生しうるものであり、当該第 2 受付状態において受け付けがなされたとしてもこれを契機として前記特定 B G M が可聴出力されることはないようになっており、

前記第 1 受付状態が発生した以降に遊技者による操作の受け付けがなされなくても、所定タイミングが到来すると前記特定 B G M は非可聴にされ、該特定 B G M が非可聴にされている状況においても当該第 1 受付状態は継続されており、

40

さらに、

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて複数の変動パターンのいずれかを選択し、該選択した変動パターンで図柄変動を実行可能な図柄変動実行手段と、

を備え、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数未満の状況にあるときに前記変動パターンが特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、前記第 1 受付状態は、該図柄変動が実行開始されてから特定時間が経過したときに発生しうるものであるが、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数以上の状況にあるときに前記変動パターンが前記特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、

50

前記第 1 受付状態は、該図柄変動が実行開始されてから前記特定時間が経過したときに発生しない

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段 1：判定を行う判定手段と、

10

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

遊技者による操作の受け付けが許容される受付状態を発生可能であり、該受付状態において受け付けがなされると、該受付状態の種別に応じた受付後表示を表示させる受付状態実行手段と

を備え、

前記受付状態として、第 1 受付状態及び第 2 受付状態を含む複数種別の受付状態が用意されており、

前記第 1 受付状態は、特定 BGM が可聴出力されているなかで発生しうるものであり、当該第 1 受付状態において前記特定 BGM が可聴出力されているなかで受け付けがなされるところを契機として前記特定 BGM が非可聴にされ、

20

前記第 2 受付状態は、可聴出力されていた前記特定 BGM が可聴出力されない状態になってから発生しうるものであり、当該第 2 受付状態において受け付けがなされたとしてもこれを契機として前記特定 BGM が可聴出力されることはないようになっており、

前記第 1 受付状態が発生した以降に遊技者による操作の受け付けがなされなくても、所定タイミングが到来すると前記特定 BGM は非可聴にされ、該特定 BGM が非可聴にされている状況においても当該第 1 受付状態は継続されており、

さらに、

前記判定手段による判定に用いられる判定情報を記憶可能な保留記憶手段と、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報に基づいて複数の変動パターンのいずれかを選択し、該選択した変動パターンで図柄変動を実行可能な図柄変動実行手段と、

30

を備え、

前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数未満の状況にあるときに前記変動パターンが特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、前記第 1 受付状態は、該図柄変動が実行開始されてから特定時間が経過したときに発生しうるものであるが、前記保留記憶手段により記憶される判定情報の数が所定数以上の状況にあるときに前記変動パターンが前記特定変動パターンで前記図柄変動が実行開始されたときには、前記第 1 受付状態は、該図柄変動が実行開始されてから前記特定時間が経過したときに発生しない

ことを特徴とする遊技機。

40